

指定管理施設（かさほら福祉センター）事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和5年度の実施状況		令和6年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R5 年度	R6 年度					
福祉高齢者、及び障がい者等にの関福	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・来所や電話により相談を受け、医療機関や相談機関につなぐ事及び適切なアドバイスを実施した。また、必要に応じて、関係機関(民生児童委員等)との調整を行った。 ・受付において気軽に声をかけるほか、掲示物を見ている方に声をかけて、日頃から相談しやすい雰囲気づくりに努め、来館者からの話も積極的に伺った。 ※健康管理や加齢に伴う持病についての相談は、医療講座にて医療従事者が対応した。(年12回)
		地域包括支援センター職員の協力のもと、介護や生活に関する相談に応じる。	-	随時	高齢者及び障がい者等からの健康相談や福祉相談を受け、必要に応じて自宅訪問を行う。 身体状況の把握と管理			—	—	—	—	
		健康相談	-	年3回程度				2	30	1 ※	33	
		小計	0	—	—	—	—	2	30	1	33	
		計	0	—	—	13	13	2	30	1	33	
高齢者の教養講座等の実施に関する事	1	高齢者等の生活、健康に関する講座の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・笠原地域福祉協議会、地域包括支援センター及び保健センター等との共催事業として実施し、一般来館利用者等に、窓口で参加等の働きかけをした。 ・笠原地域福祉協議会だよりにて事業の紹介をして啓発を行った。また、玄関正面に行事案内板を移すことにより、来館者へ各種講座のPRを行った。 ・ポッチャを実施して障害者への理解及び仲間づくりの促進をした。 ・声を出して歌う事で認知予防に繋げる歌唱療法を今年度から本格的に教室として実施。大変人気を集めている。
		健康づくり 「貯筋体操」	12	月1回	・高齢者の心身機能の維持・向上を図るとともに、仲間づくり、生きがいづくりを助長する。			21	245	22	281	
		健康づくり 「バランスボールを使った体操」	3	年3講座 (1講座: 10回)				30	456	30	398	
		健康づくり 「リンパ・ドレナージュ」	24	月2回				20	262	23	252	
		健康づくり 「3B体操」	24	月2回				22	251	20	204	
		健康づくり(初心者)	4	年4回				24	175	37	381	
		健康麻雀	24	月2回				0	0	7	99	
		健康づくり ポッチャ	2	年2回				1	16	24	594	
		健康づくり 歌唱療法	12	月1回				12	84	0	0	
		教養知識 折り紙教室	24	月2回				24	79	24	95	
		教養知識 パッチワーク教室	48	月4日				49	1,203	51	1,244	
		教養知識 麻雀教室	2	年2回				2	21	1	18	
		教養知識 スマートフォン教室	2	年1回以上				1	15	1	10	
		介護予防 家族介護教室	2	年1回以上				2	45	1	35	
		介護予防 認知症サポーター養成講座	3	年3回				2	25	1	9	
		介護予防 認知症予防講座	4	年4回				2	30	1	24	
		小計	190	—	—	—	—	212	2,907	243	3,644	
		医療講座	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・利用される方の健康維持増進へのニーズが非常に高く、脳神経科医師・消化器外科医師・循環器医師・心臓血管医師・理学療法士・管理栄養士等の専門職に依頼して、テーマを決めて講義を実施した。講義終了後に質疑応答の時間を設けて、健康の維持増進の知識向上や不安解消を行った。
		公開医療講座	12	月1回	医師、薬剤師、理学療法士等から、生活習慣病等の予防法やフレイル予防を習得する。			11	186	12	198	
		小計	12	—	—	-	-	11	186	12	198	
		計	202	—	—	11	14	223	3,093	255	3,842	・

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和5年度の実施状況		令和6年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R5 年度	R6 年度					
地域福祉増進のための講座等に関すること	1	生きがい健康塾	11	月1回	同世代の利用者相互が、身近な地域を散策や健康に関する講話を聴く事により、引きこもり防止を図る。			34	664	31	523	・地域福祉協議会が主催する講座を、笠原地域包括支援センターと協力して実施した。 ・高齢者の引きこもり予防策として実施し、季節に合わせた内容やフレイル予防に配慮したメニューを提供した。 ・講師を招きガーデニングを通じて仲間づくりをすると共に生きがいづくりの場を提供した。
		教養知識 ガーデニング講座	4	年4回 (四半期ごと)	利用者相互がガーデニング知識を習得することにより、生きがいづくりの場とする。			3	54	4	72	
		小計	15	—	—	—	—	37	718	35	595	
		計	15	—	—	13	13	37	718	35	595	
と地域福祉連携、協議会、福祉包括支援センター、地域の福祉関係団体との連携、支援に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・笠原福祉まつりを校区内の福祉団体と協力をして、笠原交流センターで実施した。 ・障害者福祉センター及び笠原地域にある障がい者・児施設の事業を紹介した。また、障がい者福祉センターが発刊している機関紙の配布も行った。 ・はだし工房、東濃自閉症センターかさはら、なごみの杜かさはらの作品展示事業を実施。(随時)
		かさはら福祉まつり (地域社協主催)	1		校区内の福祉関係団体の交流・連携と福祉センターのPR			1	500	1	500	
		障がい者施設との連携		随時	笠原地域の障がい者施設を紹介し、住民への周知と理解を促す。			—	—	—	—	
		小計	1	—	—	—	—	1	500	1	500	
		計	1	—	—	9	11	1	500	1	500	
と福祉関係団体との連携、支援に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・作業室を利用希望団体に開放し、印刷・製本作業が自由に行える環境とし、地域住民の自主的な活動やボランティア活動の促進を図った。 ・印刷機等の使用方法の説明及び消耗品の補充、機械の点検を行った。 ・イベント事業に伴うポスターの掲示に協力した。 ・多悠連笠原校区連合会総会へ4/1に施設長が出席し、情報収集を行った。その他、月2回以上情報共有を行った。 ・※笠原地域民生児童委員協議会へ年1回参加し、5月に開催した多治見市内の民生児童委員の総会へ参加した。また、毎月参加している笠原地域包括支援センター職員から情報提供を受けて共有を図った。
		各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	—	随時	各種団体が、利用しやすいように機械の整備及び作業室の整理整頓を行う。また印刷機の使用方法的説明を行う。			—	—	—	—	
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	2		情報交換、協力、支援			1	34	1	35	
		民生児童委員協議会との連携	11	月1回				1	22	2 ※	20	
		小計	13	—	—	—	—	2	56	3	55	
		計	13	—	—	9	9	2	56	3	55	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和5年度の実施状況		令和6年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R5 年度	R6 年度					
ボランティアの養成に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・共有スペースでボランティア活動紹介をした。また、イベントの案内チラシの設置スペースを充実し、各団体の広報活動を促進した。 ・健康についての問い合わせが多くあり、健康に関する情報を積極的に掲示した。 ・ベルマーク及び古切手を受け付けてボランティア活動を促進した。 ・福祉協力校として、地元の小中学校の取り組みを紹介した。 ・多治見看護専門学校及び中京学院の看護学生の実習を受け入れ、福祉教育の増進を図った。
		福祉センター正面玄関に掲示板を設置し、各種講座、ボランティア団体の活動紹介を実施する。	-	随時	募集チラシなどの掲示希望団体から出されたものを掲示し、各団体の活動を支援する。			—	—	—	—	
		ボランティア情報コーナーの設置	-	随時	ボランティアの募集や養成講座の開催等に関する情報を掲示する。			—	—	—	—	
		ベルマーク及び古切手募集コーナーの設置	-	随時	身近なボランティア参加として協力を呼び掛ける。			—	—	1	—	
		福祉教育	-	随時	かさはら福祉センターを拠点に福祉活動を啓発する。			—	—	15	15	
		小計	0	—	—	-	-	0	0	0	0	
		計	0	—	—	—	11	0	0	0	0	—
その他必要年齢者及び障がい者の福祉増進のため	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・高齢者が気軽に利用できるように建物を開放し、集いの場となるようにした。職員からも積極的にあいさつ、声掛けをした。 ・常設のコグニサイズレーンを設置し、手と足を同時に動かすことで脳と体のバランスを保てるよう、自主的に取り組むよう来館者に声をかけた。 ・健康情報誌を毎月1回、掲示及び配布して健康増進を図った。
		コグニサイズ		随時	転倒予防等、軽運動の実施			—	—	—	—	
		健康情報紙の発行	12		フレイル予防及び健康増進			12	—	12	—	
		浴場、ヘルストロン、健康器具、囲碁、将棋、ビリヤード、カラオケ等の施設の開放及び管理を実施する。	-	開館日	個人でも気軽に安心して利用できるような仲間づくりの場を提供する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	12	-	12	-	
		計	0	—	—	13	13	12	-	12	-	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点